

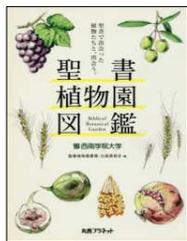


新着本案内9月号

愛知みずほ大学瑞穂高等学校
瀬木学園図書館

「聖書植物園図鑑」(193/セ)

西南学院大学聖書植物園書籍・出版委員会編



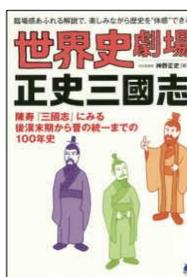
聖書に登場する植物を復元・展示する、西南学院大学聖書植物園の植物が紹介された図鑑です。写真と英名、植物が登場する聖書の聖句とその解説、植物解説、栽培方法なども掲載されています。

「土偶界へようこそ」豊田亜紀子著 (210.25/コ)



さまざまな角度から撮影したカラー写真と美しいデザインで、土偶の魅力が紹介されています。土偶は各地で発見されていますが、当時の土地の雰囲気や、それを今に伝えています。著者が実際に歩いて見て知った、一つ一つの土偶の見どころが伝わってきます。

「世界史劇場正史三国志」神野正史著 (222.04/ジ)



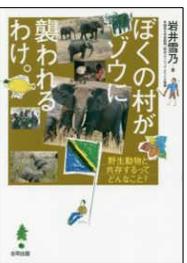
娯楽として一般に親しまれている小説『三國志演義』ではなく、その原型である陳寿が著した史書『三國志』に沿って、史実としての三國志が学べます。36枚の地図パネルと、各登場人物の解説が盛り込まれ、読者の理解を後押ししてくれます。史実としての三國志はいかなるものだったのか？『三國志』が好きな人はもちろん、読んだことがない人にもおススメです。

「怖くて眠れなくなる植物学」稲垣栄洋著 (470.4/イ)



この世の中は、植物で覆い尽くされ植物を中心に生態系が作られています。植物はどのようにして、複雑な生態系を作り上げたのか？食虫植物ハエトリソウ、死骸の花ラフレシア、絞め殺し植物ガジュマル、百獣の王を殺すライオンゴロシ、美しき悪魔ホテイアオイ、植物の毒の誘惑などなど、読み出したら止まらない、おそろしい植物の話です。

「ぼくの村がゾウに襲われるわけ。」岩井雪乃著(480.9/イ)



あたりが暗くなるとゾウが村にやってきました。メシャキくんのお父さんは作物を守るために、たき火を焚いて毛布にくるまりながら見張りをします。メシャキくんは、ゾウの足音が聞こえると、お父さんがゾウに襲われて怪我をしないか、殺されてしまわないか心配で眠ることができません。賢いゾウと共存するには？アフリカの人々が絞った知恵の物語です。

「いのちつぐ「みとりびと」シリーズ」

國森康弘写真・文(490.14/ク/5~12)

- 5: 歩未とばあやんのシャボン玉
- 6: 華蓮(かれん)ちゃんさいごの家族旅行
- 7: ぼくはクマムシになりたかった
- 8: まちに飛び出したドクターたち
- 9: 「もうひとつのお家」ができたよ
- 10: よかった、お友だちになれて
- 11: さいごまで自分らしく、美しく
- 12: みんなでつくる「とも暮らし」

看取りや死を冷たい終末としてではなく、日常のなかにあるものとしてとらえ、臨場感あふれる写真と文で、「いのちのバトンリレー」が描かれています。
涙。涙。涙。涙。涙。

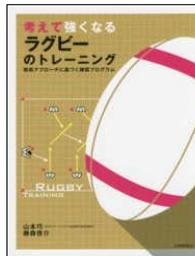


「ミツバチの教科書」フォーガス・チャドウィック著(646.9/チ)



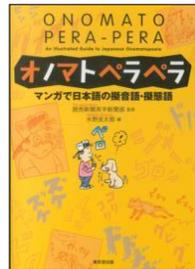
ハチの生態や、ハチが集まる色とりどりの美しい庭のつくり方、ハチが好きな植物、読むだけでも育てた気分になれる養蜂のノウハウ、ハチがもたらす恵みの活用方法まで、ミツバチに関するあらゆることが詳しく、そして分かりやすく解説されています。

「考えて強くなるラグビーのトレーニング」山本巧著 (783.48/ヤ)



中・高校生にも実施可能な練習方法と、プログラムの原理・原則が図表とともに解説されています。これを活用して、チームの強みを最大限に生かし、試合に勝つために何が必要なのかを考えてトレーニングすることで、さらなるレベルアップを目指そう。

「オノマトペペラ」水野良太郎編 (814/ミ)



「ウキウキ」「サクサク」「シトシト」。豊かでおもしろい日本語の擬音語・擬態語。さまざまな表現がマンガで紹介されています。日本語を学ぶ人や教える人、英語学習に、国際交流に、楽しく役立つ本です。

☆小説(単行本)☆

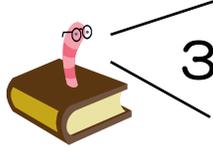
- 「薫風ただなか」あさのあつこ著 (913.6/ア)
- 「政略結婚」高殿円著 (913.6/タ)
- 「パーマネント神喜劇」万城目学著 (913.6/マ)
- 「図書館ホスピタル」三萩せんや著 (913.6/ミ)



☆小説(文庫本)☆

- 「あのひとは蜘蛛を潰せない」彩瀬まる著 (913.6/ア)
- 「吸血鬼の誕生祝」赤川次郎著 (913.6/ア)
- 「打ち上げ花火、下から見るか？横から見るか？」岩井俊二原作(913.6/イ)
- 「青の数学」王城夕紀著 (913.6/オ)
- 「さがしもの」角田光代著 (913.6/カ)
- 「いなくなれ、群青」河野裕著 (913.6/コ)
- 「ゆきうさぎのお品書き4巻」小湊悠貴著 (913.6/コ/4)
- 「雲は湧き、光あふれて3巻」須賀しのぶ著 (913.6/ス/3)
- 「旅のラゴス」筒井康隆著 (913.6/ツ)
- 「その日東京駅五時二十五分発」西川美和著 (913.6/ニ)
- 「最後の晩ごはん8巻」榎野道流著 (913.6/フ/8)
- 「未来いそっぷ」星新一著 (913.6/ホ)
- 「カスミとオポロ2巻」丸木文華著 (913.6/マ/2)
- 「向日葵の咲かない夏」道尾秀介著 (913.6/ミ)
- 「自負と偏見」ジェイン・オースティン著 (933.6/オ)





3年生図書係りから おすすめ本の紹介 その3

愛知みずほ大学瑞穂高等学校
瀬木学園図書館



「忍びの国」和田竜著
金のためなら人殺しをする伊賀忍者。しかし、すごく怠け者。伊賀一の忍者「無門」が唯一頭があがらないのが、妻「お国」。その妻によって無門が変わっていく様子が描かれている。

推薦者:匿名希望



「シーバス釣りがある日突然上手くなる」
泉裕文著
「自称中級」から、本当の中級レベルのシーバスアングラに成長するためのヒント集です。シーバスフィッシングで大切なベイトの動向などを詳しく分かりやすく書いてあります。

推薦者:冷音

「精霊の守り人」上橋 菜穂子著

守り人シリーズ第1作目。
短槍使いバルサと皇子チャグムを中心に物語が展開していく。新ヨゴ国に住む人々の生活やチャグム達の心情がイキイキと描かれている。基本一巻完結なので読みやすく、勇気を貰える1冊。

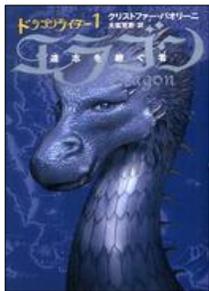
推薦者:トマト箱の妖精



「ディズニーそうじの神様が教えてくれたこと」

鎌田洋著
私はディズニーが好きなのでこの本を選びました。この本を読んで夢を諦めないこと、限界を決めないことを学びました。とても心が温まる話で、他のシリーズも全部読みたいと思いました。

推薦者:匿名希望



「エラゴン遺志を継ぐ者」クリストファー・パオリーニ著

ファンタジー作品の集大成ともいえる「ドラゴンライダー」シリーズの1作目である「遺志を継ぐ者」は、著者が17歳の時に自費出版したものだ。ただの狩人の少年エラゴンがひろった卵がかえたのは一匹の雌ドラゴンだった。邪悪な帝国の手が迫る中、エラゴンはドラゴンライダーとなることを決意する。

推薦者:松田拓



「塩の街」有川浩著

物語は、ある日突然いんせきのようなものがふってくるところから始まります。この作品は、本のタイトルにもあるように、塩害のお話でふつうの塩害とはちがいで、ふってきた塩のかたまりを見ることにより、人々は、塩の柱になってしまいます。主人公の女の子「まな」は1人の男性と出会い、色々旅をしてさまざまな人と出会い、色々な景色を見て回ります。二人は一体どんな結末を向かえるのでしょうか。読んでいて、ハラハラ、ドキドキ、キュンとする作品です。ぜひ、読んでみて下さい!!!

推薦者:匿名希望



「妖界ナビ・ルナ」(全10巻) 池田美代子著

赤ちゃんの頃から星の子学園で育てられた竜堂ルナは誕生日に敵に襲われて不思議な力が目覚めます。妖怪の「もっけとスネリ」と共に、星の子学園を旅立ち多くの壁を乗り越え、自分の過去や秘密、辞めた先生の謎が明らかに・・・。

推薦者:カーくん

前回に引き続き、3年生図書係りのおすすめ本を紹介しました。ほとんどの本が図書館にもありますので、興味を持った方は、この機会に読んでみませんか？また、「この本を紹介したい!!」という方は、図書館にお知らせください。